



送信元アドレス リストの設定

この章では、要求が GSS に送信される IP アドレスを定義して、GSS ネットワークでの DNS 要求処理を設定する方法について説明します。GSS 要求処理は、既知のクライアント DNS プロキシ (D プロキシ) の送信元アドレスリストおよび IP アドレスの集合を作成することによって設定します。



(注)

送信元アドレスの導入は任意のプロセスです。Cisco GSS ソフトウェアには、Anywhere というデフォルトの送信元アドレス リストが用意され、ドメインに関するすべての要求と比較します。

送信元アドレス リスト機能を使用すると、要求の送信元の DNS プロキシを表す IP アドレスを 1 個または複数 (リストごとに最大 30 個まで) 入力できます。各 GSS では、最大 60 個の送信元アドレス リストをサポートします。

この章の内容は、次のとおりです。

- [CLI へのログインおよび特権 EXEC モードのイネーブル化](#)
- [送信元アドレス リストの設定](#)
- [送信元アドレス リスト情報の表示](#)
- [次の作業](#)

CLI へのログインおよび特権 EXEC モードのイネーブル化



(注) GSS にログインし、特権 EXEC モードをイネーブルにする場合、ユーザは、管理者権限を持つ設定済みのユーザである必要があります。ユーザ アカウントの作成および管理の詳細については、『*Cisco Global Site Selector Administration Guide*』を参照してください。

プライマリ GSSM にログインし、CLI で特権 EXEC モードをイネーブルする手順は、次のとおりです。

1. Telnet または SSH を介してプライマリ GSSM にリモートでログインする場合は、GSSM のホスト名または IP アドレスを入力して CLI にアクセスします。

端末と GSSM 間で直接シリアル接続を使用する場合は、端末エミュレーションプログラムを使用して CLI にアクセスします。専用の端末を使用して GSS 装置に直接接続を確立する手順、および SSH または Telnet を使用してリモート接続を確立する手順については、『*Cisco Global Site Selector Getting Started Guide*』を参照してください。

2. GSSM にログインするための GSS 管理ユーザ名およびパスワードを指定します。CLI のプロンプトが表示されます。

```
gssm1.example.com>
```

3. CLI プロンプトで、特権 EXEC モードを次のようにイネーブルにします。

```
gssm1.example.com> enable  
gssm1.example.com#
```

送信元アドレス リストの設定

送信元アドレス リストを設定するには、グローバルサーバロードバランシング設定モードで **source-address-list** コマンドを使用します。

このコマンドの構文は、次のとおりです。

```
source-address-list name owner name [comments text]
```

このコマンドのキーワードおよび引数は、次のとおりです。

- **name** — 送信元アドレス リストの名前。最大 80 文字までの、一意の英数字名を入力します。スペースを含む名前は、引用符で囲んで入力する必要があります (“name 1” など)。
- **owner name** — 送信元アドレス リストを関連づける既存の所有者名を指定します。第2章「リソースの設定」の「所有者の設定」を参照してください。
- **comments text** — 送信元アドレス リストに関する記述情報または重要な注釈を指定します (オプション)。最大 256 文字までの英数字を入力します。スペースを含むコメントは、引用符で囲んで入力する必要があります。

source-address-list コマンドを入力すると、プロンプトが表示されて送信元アドレス リスト モードに変わります。このモードで、クライアント DNS プロキシの IP アドレスを指定します。複数のアドレスを入力する場合は、**ip address** コマンドを繰り返し入力します。各リストには、デフォルト リストを含めて、最大 60 個のアドレスを入力できます。デフォルト リストはユーザ設定可能でないため、このリストを使用すると、アドレスを追加できません。

たとえば、WEB-GLOBAL-LISTS という名前の送信元アドレス リストを作成し、このリストに IP アドレスとサブネット マスクをそれぞれ 2 つずつ追加する場合は、次のように入力します。

```
gssm1.example.com# config
gssm1.example.com(config)# gslb
gssm1.example.com(config-gslb)# source-address-list WEB-GLOBAL-LISTS
owner WEB-SERVICES comments "GLOBAL ALIST FOR ECOMMERCE"
gssm1.example.com(config-gslb-sal)# ip address 1024 172.27.16.4
255.255.255.0
gssm1.example.com(config-gslb-sal)# ip address 1024 172.27.28.4
255.255.255.0
```

■ 送信元アドレス リストの設定

送信元アドレス リストを削除する必要がある場合は、最初に、削除しようとする送信元アドレス リストがいずれの DNS 規則によっても参照されていないことを確認してください。既存の DNS 規則に関連づけられた送信元アドレス リストは削除できません。必要に応じて、DNS 規則から送信元アドレス リストを削除します。DNS 規則を変更する手順については、第7章「DNS 規則の作成および変更」を参照してください。



注意

プライマリ GSSM で削除したデータは、どのような種類であっても、元に戻すことはできません。後で使用される可能性があると思われるデータについては、削除する前に、GSSM のデータベース バックアップを実行してください。詳細については、『*Global Site Selector Administration Guide*』を参照してください。

送信元アドレス リストを削除する手順は、次のとおりです。

1. 現在 GSS に設定されている送信元アドレス リストに関する情報を表示する場合は、必要に応じて **show gslb-config source-address-list** コマンドを使用します。詳細については、「送信元アドレス リスト情報の表示」(p.3-5) を参照してください。
2. 削除しようとする送信元アドレス リストを確認し、**source-address-list** コマンドの **no** 形式を使用してアドレスを削除します。

送信元アドレス リストを表示し、そのなかの1つの送信元アドレス リストを削除する場合は、次のように入力します。

```
gssm1.example.com(config-gslb)# show gslb-config
source-address-list
source-address-list WEB-GLOBAL-LISTS owner WEB-SERVICES
    ip address 192.168.1.0/24
source-address-list sal2 owner WEB-SERVICES
    ip address 192.168.100.0/24
source-address-list Anywhere owner System
    ip address 0.0.0.0/0

gssm1.example.com(config-gslb)# no source-address-list
WEB-GLOBAL-LISTS
gssm1.example.com(config-gslb)#
```

送信元アドレス リスト GLOBAL-SERVICE-LISTS に含まれている IP アドレスを削除する場合は、次のように入力します。

```
gssm1.example.com(config-gslb)# source-address-list
GLOBAL-SERVICE-LISTS
gssm1.example.com(config-gslb-sal)# no ip address 1024 172.27.16.4
255.255.255.0
gssm1.example.com(config-gslb-sal)#
```

送信元アドレス リスト情報の表示

現在 GSS に設定されている送信元アドレス リストに関する情報を表示するには、**show gslb-config source-address-list** コマンドを使用します。

たとえば、以前に作成された送信元アドレス リストを表示する場合は、次のように入力します。

```
gssm1.example.com(config-gslb)# show gslb-config source-address-list

source-address-list sal1 owner E-COMMERCE
    ip address 192.168.1.0/24
source-address-list sal2 owner WEB-SERVICES
    ip address 192.168.100.0/24
source-address-list sal3 owner SECURITY
    ip address 192.168.150.0/24
source-address-list Anywhere owner System
    ip address 0.0.0.0/0
gssm1.example.com(config-gslb)#
```

次の作業

第4章「ドメイン リストの設定」では、ドメイン リストの作成方法について説明します。ドメイン リストは、DNS クエリー応答に関して GSS に委任されたインターネットまたはイントラネット リソースのドメイン名の集合であり、ホステッド ドメインと呼ばれることもあります。

■ 次の作業